

第7次総合計画（案）	（参考）第6次総合計画
<p>【頭書き】</p> <p>目指す都市像と基本目標は、市民と行政がともにまちづくりを進めるにあたり、まちのあるべき姿や望ましい姿をあらわすものとして掲げるものです。</p>	<p>【頭書き】</p> <p>目指す都市像と基本目標は、市民と行政がともにまちづくりを進めるにあたり、まちのあるべき姿や望ましい姿をあらわすものとして掲げるものです。この都市像と基本目標は、短期間で変わるものではなく、長期的視点で実現を目指していくものであるため、第6次総合計画においては、第5次総合計画にて掲げた都市像と基本目標を継承し、その実現に向け引き続き取り組むこととします。</p>
<p>【目指す都市像】</p> <p>これからの新しい時代においては、これまでのまちづくりの経過を踏まえつつ、このまちに暮らす人が、生まれ、育った郷土に愛着と誇りを持ち、安心して暮らすことができ、ずっと住み続けたいと思えるように、本市の独自性や強みに目を向け、新しい視点や発想を取り込みながら、持続発展可能なまちづくりを進めていくことが求められています。あわせて、有明海沿岸道路をはじめとする地域高規格道路の開通により、九州佐賀国際空港も含めた広域的な交通ネットワークが形成され、人流や物流の更なる活発化が期待されており、県を超えた広域連携による地域活性化が今後ますます重要となっています。</p> <p>そこで、「人づくり」をまちづくりの基本としつつ、新興感染症の拡大や豪雨災害といった困難な状況においても決してくじけない、明るく未来志向の市民の力と思いを、このまちの将来に向けた飛躍の力（バネ）とし、全市的な災害対応力の向上と、次代における新たな価値の創造と発信により、これからも有明海沿岸地域のリーディングシティとして発展していくため、本市の目指す将来の都市像を次のとおり定めます。</p> <p style="text-align: center;">元気あふれる 安心快適な未来価値創造都市 おおむた ～ 有明海沿岸地域のリーディングシティ～</p>	<p>【目指す都市像】</p> <p>本市は、明治時代以降、日本の近代化を支えてきた石炭産業の隆盛とともに発展しました。これまでも多くの人が集まり、このまちに暮らす人々の英知と活力によって、様々な歴史や文化が生み出され、まちの魅力を形成しています。これらは今後も引き継いでいくべきものと考えます。</p> <p>そのうえで、これからの新しい時代においては、このまちに暮らす人が、生まれ、育った郷土に愛着と誇りを持ち、安心して暮らすことができ、ずっと住み続けたいと思えるように、本市の独自性や強みに目を向け、これまでにない新しい視点や取組みを示しながら、将来にわたり持続的に発展するためのまちづくりを進めていくことが求められています。</p> <p>まちづくりは人づくりからと言われるように、まちは人によって成り立つものです。人が生活を営むことにより活気が生まれます。人と人とのつながりの中から、やさしさや思いやりがはぐくまれます。家庭、地域、学校、職場など様々な場面において、多くの市民が人を育てることの重要性を認識しています。そのため、これまで以上に人を中心としたまちづくりが必要です。</p> <p>このようなことから、将来にわたって安心して暮らし、本市に住んでいることを自ら誇ることができるまちづくりを、市民とともに実現していくため、大牟田市の目指す将来の都市像を、次のとおり定めます。</p> <p style="text-align: center;">人が育ち、人でにぎわい、人を大切にする ほっとシティおおむた</p>

V 目指す都市像と基本目標（案）

第7次総合計画（案）	（参考）第6次総合計画
<p>【基本目標1 未来を担う心豊かで元気な人が育まれるまち】</p> <p>このまちで人が暮らし続けていくためには、このまちを支える人が必要です。このまちを支える人には、豊かな人間性と時代の変化に対応できる力が求められます。</p> <p>そのため、安心して子どもを産むことができ、育てやすい環境を整えるとともに、家庭や地域、学校において、豊かな心や社会を生き抜く力、持続可能な社会をつくる力が育まれ、未来の大牟田を担う人が育つまちを目指します。</p>	<p>【基本目標1 はぐくみ 未来を拓く人がはぐくまれています】</p> <p>このまちで人が暮らし続けていくためには、このまちを支える人が必要です。このまちを支える人には、豊かな人間性と時代の変化に対応できる力が求められます。特に、大牟田の未来を担う世代である子どもたちには、幅広い知識や教養、新しい時代を切り拓く力を養うことが重要です。</p> <p>そのため、安心して子どもを産むことができ、育てやすい環境を整えるとともに、家庭や地域、学校において、豊かな心や社会を生き抜く力、持続可能な社会をつくる力がはぐくまれるまちを目指します。</p> <p>また、生涯を通して、いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができ、その学習の成果をまちづくりに活かすことができる仕組みづくり、スポーツや文化芸術の振興を通じた人づくり、あらゆる人を尊重し、理解し合える気持ちを持つ人づくりなどを通して、未来の大牟田を担う人づくりが行われているまちを目指します。</p>
<p>【基本目標2 新たな魅力や価値が創造され、人が集い、働き、にぎわいのあるまち】</p> <p>本市には、これまでの歴史で培ってきた産業の集積、本市固有の財産である大蛇山や近代化産業遺産群、鉄道や道路などの広域交通ネットワーク、さらには、有明海や三池山などの豊かな自然があります。また、デジタル化や技術の進展により、生産性の向上や省エネ・脱炭素化など産業の抱える課題の解決や新たな製品やサービスが生み出されることが期待されています。</p> <p>そのため、これらの地域資源を活かしつつ、デジタルなどの技術導入を推進し、様々な産業において新たな魅力や価値が創造され、人が集い、働き続けることができ、にぎわうまちを目指します。</p>	<p>【基本目標2 にぎわい 地域の宝が活かされ、にぎわいのあるまちになっています】</p> <p>人口減少や少子高齢化、産業構造の変化等により、まちのにぎわいが失われてきています。</p> <p>本市の経済活動が活発に行われることで、そこに雇用が生まれ、市民が安心して住み続けられる環境の創出が期待できます。また、市外から人を呼び込み、人が行き交うことでまちの賑わいが生まれます。人を呼び込むためには、大牟田の魅力を発信していくことも必要です。</p> <p>本市には、これまでの歴史で積み重ねられてきたものづくりの技術があり、今後もこの力をまちづくりに活かしていく必要があります。また、本市固有の財産である大蛇山、本市の発展に関わりの深い近代化産業遺産、鉄道や道路などの広域交通ネットワーク、さらには、有明海や三池山などの自然の豊かさも活用していくことが求められます。</p> <p>これらの地域の宝が活かされ、様々な産業が発展し、活気あるまちがづくり出され、人が働き続けることができ、人のにぎわうまちを目指します。</p>
<p>【基本目標3 誰もがいきいきと支え合い、元気に安心して暮らせるまち】</p> <p>自助、共助、公助の視点で、様々な主体が連携し、心身や経済の状況に関わらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるような仕組みをつくっていくことが必要です。また、活力ある地域社会を維持していくためには、すべての市民がその生涯を通じて健康であることが重要です。</p> <p>そのため、誰もが社会に参加することができ、共に支えあい、生きがいを持って健康に暮らし続けることができるまちを目指します。</p>	<p>【基本目標3 やさしさ 支えあい、健やかに暮らせています】</p> <p>少子高齢化や核家族化、都市化が進む中、一人暮らし世帯や高齢者のみの世帯が増加するなど、家族構成や家族の役割が大きく変化しています。また、個人の価値観やライフスタイルの変化に伴い、地域社会のつながりが希薄になってきており、社会的に孤立する人が増加しています。</p> <p>こうした中、自助、共助、公助の視点で、市民、地域コミュニティ組織、団体、事業所、行政等が適切に連携し、心身や経済の状況に関わらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるような仕組みをつくっていくことが必要です。また、活力ある地域社会を築いていくためには、すべての市民がその生涯を通じて健康であることが重要です。</p> <p>このため、誰もが互いにあいさつを交わし、人と人とのつながりの中で、社会に参加することができる仕組みづくりを進めるとともに、ライフステージや個人の健康状態に応じた健康づくりをまち全体で支援することで、すべての市民が共に支えあい、生きがいを持って健康に暮らし続けることができるまちを目指します。</p>

V 目指す都市像と基本目標（案）

第7次総合計画（案）	（参考）第6次総合計画
<p>【基本目標4 人が行き交い、魅力にあふれ、都市と自然が調和した快適なまち】</p> <p>市民にとって利便性が高く、良好な都市基盤の整備を進め、長期的に都市の活力を維持していく必要があります。また、豊かな自然と都市環境の中で、環境負荷の低減や自然環境の保全を通し、将来にわたって持続可能な環境を残していく必要があります。</p> <p>そのため、多様な世代が快適で魅力ある都市生活を送ることができるコンパクトな都市づくりを進めるとともに、環境保全行動の促進やごみの減量化・資源化を通じた都市と自然が調和した快適なまちを目指します。</p>	<p>【基本目標4 暮らし 都市と自然が調和した快適なまちになっています】</p> <p>本市は海と山に囲まれた豊かな自然に恵まれ、気候も温暖で自然災害も少ないまちです。これに加え、鉄道、道路や港などの都市基盤が整い、利便性の高い都市機能を持ったまちでもあります。今後は、都市と自然の調和に配慮しながら都市のコンパクト化と公共交通ネットワークの確保による都市機能の向上を図り、市民にとって利便性の高い持続可能なまちを目指します。</p> <p>これらの豊かな自然と都市環境の中で、環境負荷の低減や自然環境の保全を進め、人々の暮らしに潤いのある地球にやさしいまちを目指します。</p>
<p>【基本目標5 災害に強く、犯罪や事故の少ない、安心して安全に暮らせるまち】</p> <p>近年、日本や世界の各地で大規模な自然災害が発生しており、災害から市民の生命、身体及び財産を守るための対策は欠かすことのできないものです。また、消防体制の充実、犯罪や交通事故の防止などの暮らしの安全確保、生活に必須である水の供給なども欠かすことはできません。</p> <p>そのため、災害に強く、犯罪や事故の少ない、市民が安心して安全に暮らせるまちを目指します。</p>	<p>【基本目標5 あんしん 安心して安全に暮らせています】</p> <p>近年、日本や世界の各地で大規模な自然災害が発生しており、災害から市民の生命、身体及び財産を守るための対策は欠かすことのできないものです。自然災害が発生したときに被害を最小限に食い止められるよう、あらかじめ被害を減らすための備えも必要です。また、消防体制の充実、地域医療体制の確保、犯罪や交通事故の防止などの暮らしの安全確保、生活に欠かすことのできない水の供給、より良い消費生活など、市民が安心して安全に暮らせる取組みが求められています。</p> <p>このため、行政と市民のそれぞれが災害への備えを充実させるとともに、モラルやルールを守ることで犯罪や事故の少ない、安心して安全に暮らせるまちを目指します。</p>
<p>【計画の実現に向けて】</p> <p>今後のまちづくりを進めるにあたっては、少子高齢化や人口減少の進行、市民ニーズの多様化・複雑化など、本市を取り巻く状況の変化に柔軟に対応していく必要があります。</p> <p>そのため、市民と行政との協働によるまちづくりを進めるとともに、市内外への積極的な情報発信、近隣自治体との連携の強化、自動化・省力化に向けた行政のデジタル化等を図ることで、効果的・効率的で安定した行財政運営を行うことができるまちを目指します。</p>	<p>【計画の実現に向けて】</p> <p>少子高齢化や人口減少の進行、個人の価値観やライフスタイルの変化による市民ニーズの多様化・複雑化により、これまで行政が担ってきた公共サービスを今後も行政だけで維持することは、困難な状況になっています。</p> <p>このような中にあるのは、市民一人ひとりがそれぞれの役割と責任を自覚しながらこのまちの目指す方向性を共有し、互いに助け合いながら自らの力で住みよいまちをつくるのが大切です。</p> <p>一方、地方分権の進展に伴い、自治体においては、個性を活かしながら、自立したまちづくりを進める必要があります。また、住み続けたい、住みたい、訪れたいと思ってもらえる「選ばれるまち」の実現を目指し、地域の魅力を市内外へ積極的に発信する必要があります。</p> <p>このような社会背景から、まちづくり総合プランに掲げる目指す都市像の実現及び各基本目標の達成に向けて、市民と行政との協働によるまちづくりを進めていくとともに、近隣自治体との連携の強化や自動化・省力化につながる技術の活用を図るなど、効果的・効率的で安定した行財政運営を行うことができるまちを目指します。</p>